

ペーパー君の紙レポート

<報道関係各位>

2019年11月29日

日本製紙連合会

<ビジネスパーソンの紙媒体とデジタル媒体の利用に関する意識・実態調査>

「書籍」、「手紙」、「漫画」、「雑誌」、「新聞」は“紙派”が主流！

約6割のビジネスパーソンが手帳は「紙」で使いたい。

紙の魅力は「書き込みや切り貼りができる」や「温かみ」など。

日本製紙連合会（東京都中央区）は、国内に在住の20～60代の623名を対象に、「ビジネスパーソンの紙媒体とデジタル媒体の利用に関する意識・実態調査」を2019年11月1日（金）～6日（水）の期間で実施しました。

本調査では、「書籍」（73.5%）、「手紙」（68.9%）、「漫画」（62.1%）、「雑誌」（61.2%）、「手帳」（58.6%）、「新聞」（54.9%）については、紙での使用に支持があることがわかりました。一方、デジタルでの用途としては、「写真」（83.6%）、「地図」（79.8%）があがりました。紙媒体への魅力としては、「書き込みや切り貼りができること」（43.2%）、「持ち運べる」（31.8%）などの機能的なことや、「温かみ」（30.7%）、「さわり心地」（29.2%）など情緒的な特長があがりました。

また、手帳は紙派が約6割いるなか、ビジネスパーソンの4割以上が、予定管理に使うツールに「紙の手帳」（42.7%）を今後も買う予定であることがわかりました。紙の手帳のよさとしては、「予定以外にもメモができる」（56.7%）、「データが飛ばない安心感」（40.3%）等があがり、デジタルのスケジュールツールのよさとしては、「どこからでもアクセスできるから」（57.8%）、「修正が簡単だから」（43.8%）等があがりました。

次頁以降に調査結果の詳細をまとめております。ご参照ください。

<調査結果サマリー>

1. 「書籍」、「漫画」、「雑誌」、「手紙」、「手帳」、「新聞」などは半数以上が「紙で使いたい」。一方、「地図」や「写真」はデジタルに軍配。
2. 紙のよさは「書き込みや切り貼りができること」や「持ち運びやすさ」。「温かみ」や「さわり心地」にも支持が。
3. 手帳は紙派が約6割。ビジネスパーソンの4割以上が今後も「紙の手帳」を買う意向。
4. 「紙の手帳」のよさは、「予定以外にもメモができる」、「データが飛ばない安心感」。「デジタルのスケジュールツール」のよさは、「どこからでもアクセスできる」、「修正が簡単」。

■ビジネスパーソンの紙媒体とデジタル媒体の利用に関する意識・実態調査 概要

- 対象 : 47都道府県の20代～60代のビジネスパーソン
- サンプル数 : 623（男性446、女性117）
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査期間 : 2019年11月1日（金）～6日（水）

【本件に関する報道関係者様からのお問合せ先】共同ピーアール(株) 担当：今水

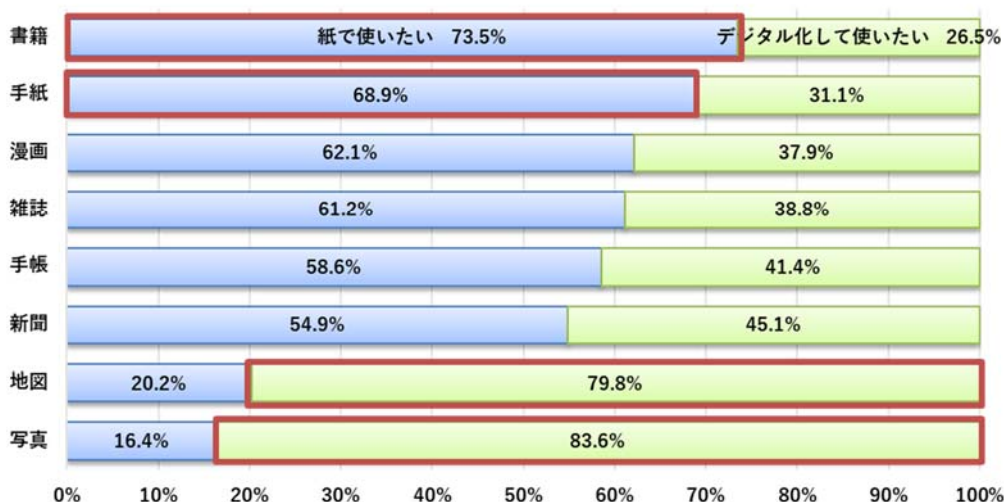
TEL : 070-6456-5236 / 03-3571-5236 FAX : 03-3574-9364 MAIL : paper-pr@kyodo-pr.co.jp



■ 調査詳細

1. 「書籍」、「手紙」、「漫画」、「雑誌」、「手帳」、「新聞」などは半数以上が「紙で使いたい」。一方、「地図」や「写真」はデジタルに軍配。

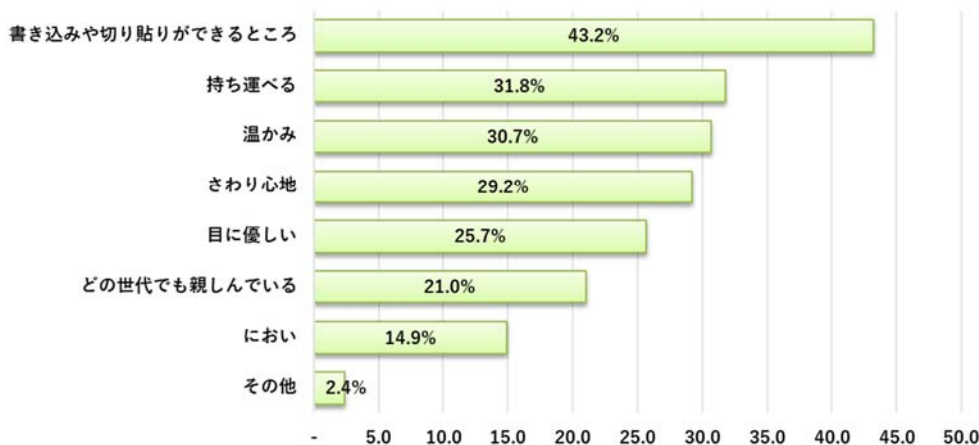
Q1 日頃から「紙で使いたいもの」・「デジタル化して使いたいもの」をお答えください。
(SA N=623)



「Q1 日頃から「紙で使いたいもの」・「デジタル化して使いたいもの」をお答えください」の設問について、「書籍」(73.5%)、「手紙」(68.9%)、「漫画」(62.1%)、「雑誌」(61.2%)、「手帳」(58.6%)、「新聞」(54.9%)については、紙での使用に支持があることがわかりました。一方、デジタルでの用途としては、「写真」(83.6%)、「地図」(79.8%)があがりました。デジタルツールの発達で、出先での行き先検索が容易な「地図」や共有などが気軽にできる「写真」はデジタルでの使用が多いようです。

2. 紙のよさは「書き込みや切り貼りができるところ」や「持ち運びやすさ」。「温かみ」や「さわり心地」にも支持が。

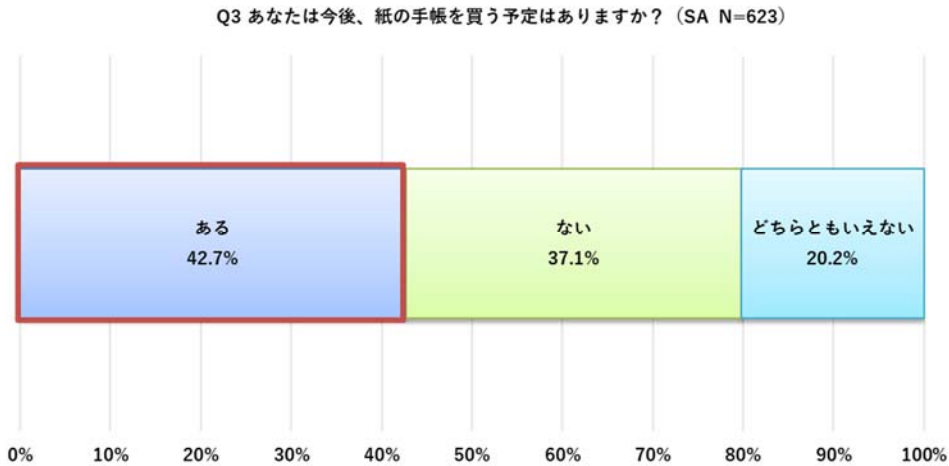
Q2 近年、紙類のデジタル化がすすんでいます、デジタルにはない紙のよさは何ですか。
(MA N=623)



「Q2 近年、紙類のデジタル化がすすんでいます、デジタルにはない紙のよさは何ですか。」という設問では、紙媒体への魅力としては、「書き込みや切り貼りができること」(43.2%)、「持ち運べる」(31.8%)などの機能的なことや、「温かみ」(30.7%)、「さわり心地」(29.2%)など情緒的な特

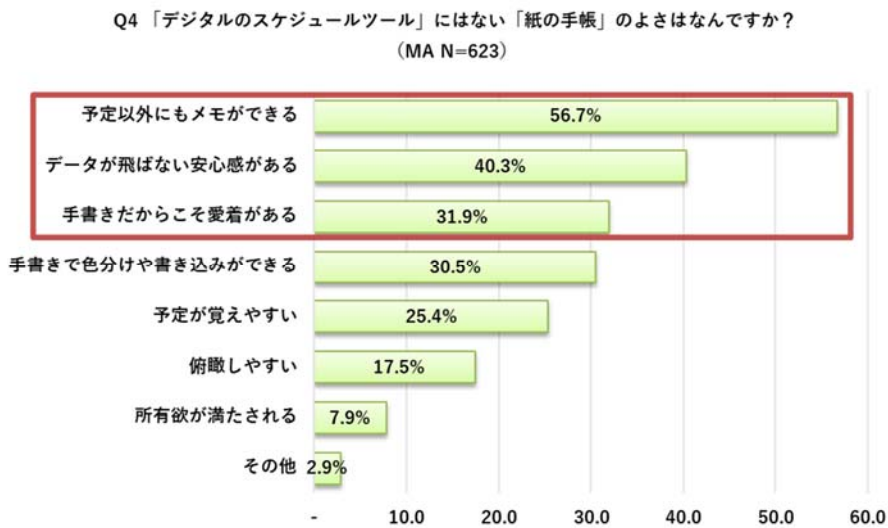
長があがりました。デジタルツールの便利さに注目が集まりますが、ビジネスパーソンは紙類に対して、機能的な魅力を感じていることがわかりました。

3. 手帳は紙派が約 6 割。ビジネスパーソンの 4 割以上が今後も「紙の手帳」を買う意向。



「Q3 あなたは今後、紙の手帳を買う予定はありますか？」という問いでは、ビジネスパーソンの 42.7%が今後も紙の手帳を買う予定であることがわかりました。Q1 でも紙の手帳 (58.6%) に支持が集まりましたが、今後もビジネスパーソンは紙の手帳を予定管理等のために買う意向であることがわかりました。

4. 「紙の手帳」のよさは、「予定以外にもメモができる」、「データが飛ばない安心感」。「デジタルのスケジュールツール」のよさは、「どこからでもアクセスできる」、「修正が簡単」。



デジタルのスケジュールツールにはない紙の手帳のよさを聞いてみると、「予定以外にもメモができる」(56.7%)、「データが飛ばない安心感がある」とデジタルのスケジュールツールにはない機能的な

特長をあげました。また、「手書きだから愛着がある」(31.9%)、「手書きで色分けや書き込みができる」と自らの文字でかけることにも魅力を感じているようです。

また、デジタルのスケジュールツールの魅力を聞いてみると、「どこからでもアクセスできるから」(57.8%)、「修正が簡単だから」(43.8%)という項目があがりました。「過去の検索が楽」(40.6%)、「共有できるから」(27.8%)など、デジタルのスケジュールツールならではの特長には魅力を感じているようです。

Q5 デジタルの手帳（スケジュールツール）のよさはなんですか？
(MA N=623)

